

- 新年のご挨拶
- 平成22年度 一般会計補正予算
- 採決の結果
- 一般質問に6人が登壇
- 決算審査特別委員会
- TPPに反対する意見書・討論
- 常任委員会報告
- 議会活動報告と私の信条

飯南町議会 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第24号

平成23年1月20日



## 雪おろし

バジルという言葉が、ちょっとはやっているようです。「バあば」や「ジいじ」が「頑張ル」、しかもバジルはハーブで、隠し味のように目立たずしっかり味を出している…との良い意味で使われています。

高齢化率も年々上がっているこの町でも、黙々と屋根の雪を除雪しておられる方が、町のあちこちで見られます。自分の家のことは後にしてでも、今は住んでおられない空き家の雪を除雪しておられるのです。ご近所の人たちの協力で安心して暮らせる町「飯南町」を、定住対策の核として伝えられればいいですね。

## 12月定例会における採決の結果

件名	結果	安部朋次	小野 覚	難波 俊司	瀧尻 行雄	伊藤 好晴	永井 章	長島 正一	門真 一郎	安部 誠也	石原 敏郎	熊谷 兼樹
平成21年度飯南町各会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飯南町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町医療従事者確保対策助成金条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南広域連合規約の一部を変更する規約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度飯南町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度飯南町病院事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(下米島、八神地区移動通信用鉄塔無線設備)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
赤来中学校校舎・屋内運動場耐震補強改修工事(屋内運動場棟)請負変更契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 12月定例会における議員提出議案採決の結果

発議第12号 医療費窓口負担の軽減を求める意見書(案)の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
--------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 第7回臨時会(11月15日開催)における採決の結果

雲南消防組合の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南消防組合の解散に伴う財産処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南消防組合の解散に伴う事務の承継	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南環境衛生組合の解散について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南環境衛生組合の解散に伴う財産処分	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雲南環境衛生組合の解散に伴う事務の承継	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町携帯電話等エリア整備事業光ケーブル敷設工事請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度飯南町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 第7回臨時会における議員提出議案採決の結果

発議第10号 尖閣諸島海域における中国漁船衝突事件等に関する意見書(案)の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第11号 環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉参加に反対する意見書(案)の提出	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

○賛成議員 ●反対議員



**陳情**  
医療費の窓口負担軽減の意見書採択を求める陳情  
(陳情者)  
松江市浜乃木四丁目4番1号  
島根県保険医協会  
会長 古沢 正治  
(審査委員会)  
総務厚生常任委員会  
(審査結果)  
採択

平成22年  
**12月**定例会  
12月定例会は、12月7日から12月17日までの11日間の日程で開きました。

**新年のご挨拶**  
飯南町議会議長  
**那須 穂士輝**

## 12月定例会で可決された主な議案

- 認定** 平成21年度飯南町各会計歳入歳出決算の認定について1件
- 条例関係** 飯南町定住促進賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の制定についてなど7件
- 予算** 平成22年度飯南町一般会計補正予算(第4号)など5件
- 契約締結** 財産の取得についてなど2件
- その他** 雲南広域連合規約の一部を変更する規約について1件
- 議員発議** 医療費窓口負担の軽減を求める意見書1件

新年あけましておめでとう  
ございます。  
町民の皆様には、明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。  
昨年中は、皆様方の温かいご理解ご支援により、議員活動に精励できましたことに対し、厚くお礼申し上げます。  
歴史的政権交代から一年半、国の姿勢が定まらない中で、地方自治体を取り巻く諸情勢も依然として厳しいものがある  
新庁舎建設問題を検討する特別委員会を設置し、町民の皆さんにとって最善はどうあるべきか議論を重ねております。  
昨年は、農政に戸別所得補償制度が導入され、結果として米価が大きく下落し、農家の皆さんは大変つらい思いをされました。更に本年から平成二十五年までの間、四十八クタールの水田の作付面積が減少されることになり、その全てを転作することにより、耕作放棄地の発生を食い止めるねばなりません。この転作を落ち込むことなく前向きにとらえ、若者の就業意欲を喚起する環境づくりが求められます。  
町民の皆様にとりまして、この一年が実り多い年でありますように、そしてご健康ご多幸を心からお祈り申し上げます。  
平成二十三年 正月

## 福祉施設スプリンクラー設置、林道作業道整備費など 平成22年度 一般会計補正予算を

# 7,071万円増額

各会計	補正予算	予算総額
<b>一般会計</b>	<b>7,071万円</b>	<b>81億4,084万円</b>
<b>特別会計</b>		
国民健康保険事業	50万円	8億280万円
後期高齢者医療事業	316万円	1億6,194万円
簡易水道事業	97万円	3億1,261万円
病院事業	3,883万円	9億7,566万円

## Q 温泉活用を柱に活性化を A 周辺施設と連携し対応

永井 章議員

国道54号活性化アクションプランは、キーワードを「食」「自然」「安心・快適」と定め、町ぐるみの協働で進めるものです。尾道松江線の松江、三次間は24年度に開通が予定されており、交通量の減少や地域経済への影響が懸念されます。

アクションプランの柱に自然資源を活用した取り組みとして、温泉の有効活用方法を探るとあります。町内3カ所と近隣2カ所の温泉に、年間約10万人の入湯客があり、ほとんどが54号を利用しての来町です。今後、戦略プランとして類似する温泉との連携を図る考えは。

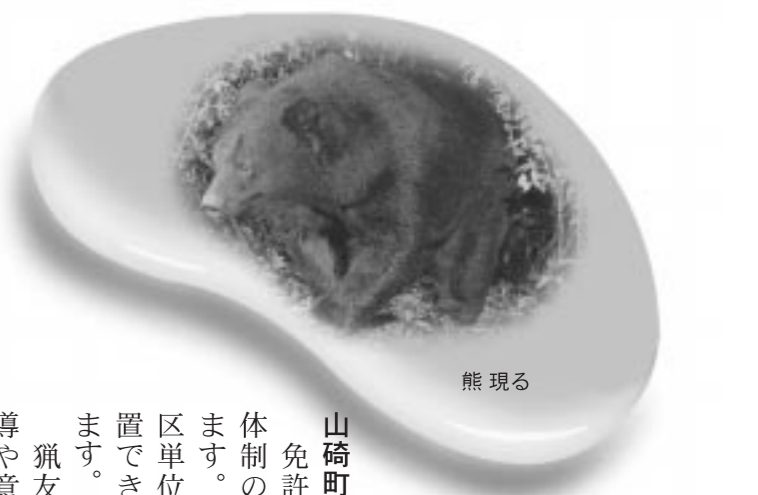


加田の湯

## Q 有害鳥獣対策は A 積極的に対処

永井議員

今年は、夏の猛暑と鳥獣害により農作物を中心に被害が多発しました。出雲広域農業共済組合では、有害獣侵入防止事業の捕獲檻と罠購入補助制度がありますが、町の独自対策が求められます。狩猟免許者は高齢化し、新規取得者も少なく、今後の農作物被害防止には



熊 現る

山崎町長  
免許者の高齢化で捕獲体制の弱体化が予想されます。駆除を目的に、地区単位で免許者を育成配置できる仕組みを検討します。狩友会、関係機関の指導や意見をもとに対処します。

緊急を要する対応として、町でクマ捕獲器の購入を検討します。

イノシシ駆除費は、本年度予定した160頭を大きく上回り、248頭を駆除しており、実績に応じた予算を考えます。広範囲の防護柵や里山整備等、効率的な方法を集落から提案してもらい、国の事業と、町の支援対策を考えます。

狩猟免許者確保が急務と  
思うが。  
クマの出没による人身被害があり、県から檻を借用し、子グマ1頭を捕獲しました。町でクマ捕獲器を購入する考えは、イノシシ駆除費を、本年の捕獲実績頭数に増額する考えは。  
鳥獣被害を未然に防ぐための対策は。

## 12月定例会

## 町政を問う

## 一般質問

## Q 鳥獣害に抜本的対策を A 総合対策を実施する



長島正一議員

有害鳥獣の被害は農業者の営農意欲の低下を招くだけでなく、耕作放棄地の増加をもたらし、これが更なる被害を招く悪循環を生じさせています。被害防止には地域全体の取り組みを推進することが効果的といわれていますが、近年の高齢化や狩猟者人口の減少に伴い、一集落単位の取り組みに限界を感じており、抜本的対策が必要です。

早急に全町をあげた取り組みの体制を確立すべきで、広域連携による一斉駆除の必要性が考えられるが。

狩友会や中山間地域研究センターの専門員と協力、連携により専門的な情報提供や、罠・檻等の講習会を開催し、これにより自主的な取り組みの体制を構築すべきでは。また、長期的な視点で里山の整備をすることが求められているが、今年の冬から来春まで

## Q 健全財政で 産業振興を A 5つの重点目標で

長島議員

全国的に注目を得ている小さな町は、いずれも財政の健全化とともに住み良いまちづくりを目指しており、若者定着を図っています。

今の経済状況を見ながら、どのようにこのまちの将来を考え、財政運営に当たるのか。また、産業振興にどのような投資をするのか。

山崎町長

本町のように財政力の低い自治体は、地方交付税に財政運営が左右されるので常に動向を注視しています。

・ 予算配分は重点施策へ傾斜配分する枠配分方式を導入します。  
・ 予算編成の過程を公表することで、予算の透明性を明らかにします。

・ 事業評価シートの導入で総合振興計画の進捗を図ります。

・ 単年度収支均衡予算に努め、実質公債費比率が再び上昇しないよう繰上げ償還を行い、健全な財政を目指します。これらを実行することにより、将来を展望したまちづくりを行います。

産業振興は

・ エコ米と園芸作物を振興し、販売対策として直接消費者の元へ届ける仕組みづくり。  
・ 鳥獣被害対策として森林整備。  
・ 森林セラピーなどの交流事業の促進。  
・ 太陽光発電と木質バイオマス導入の検討。  
・ 新規就農者の育成と定住の促進。の5つを重点的に考えています。



大豆の穫り入れ風景

# 12月定例会 町政を問う 一般質問

**Q B級グルメやゆるキャラで活性化を**  
**A** いずれも今後計画・検討



安部 誠也 議員

全国各自治体では「B級グルメ」で地域の活性化に結びつけています。国道54号活性化のアクションプランにも「食の魅力を高める」とあります。本町も、季節の特産品を活かした料理を町民の皆さんに公募し、「B級グルメ」で活性化に結びつける取り組みをすべきです。

また、国や地方自治体ではマスコットキャラクタールである「ゆるキャラ」などを使用して新聞やテレビなどでPRに力を入れています。わが町も「ゆるキャラ」でPRすべき

です。「ゆるキャラ」は動物系もいいですが、島根県は神話の国であり、ふるさとに残る古い神話や伝説をキャラクターにしてはどうか。

山崎 英樹 町長

アクションプラン推進会議で54号を「B級グルメ街道」や「B級グルメフェスタ開催」などのアイデアも出されており、今後しっかりと計画にします。

「いーにゃん」は「ゆるキャラ」の3条件に合うものであり、飯南ブランドの定着に向けて有効な手法であり、来年度の予算を含めて検討します。提案の神話も後世に残す意味でも考えていきます。



町のマスコット「いーにゃん」

**Q 今後のまちづくりの目標は**  
**A** 生命地域宣言を基本に



安部 朋次 議員

総合振興計画の基本理念として「小さな田舎からの「生命地域」宣言」を掲げ、豊かな自然を活かしたまち

安心して暮らせるまち住民の参画によって育てるまち…を将来像として、まちづくりが進められてきました。

しかし、国の政策や経済状況、産業の多様化など、政策の変更による事業の見直しなどが行われ、目標が見えないのが現状です。住民にとって住みやすい地域、誇りを持てる町として、いま一度原点に

もどり検討する考えは。

山崎 英樹 町長

総合振興計画の六章からなる基本計画の検証を進め評価し、後期計画の課題として施策の解決に重点的に取り組み、実践

**Q 来年度の独自政策は**  
**A** 諸課題に取り組む

安部 議員

後期基本計画と過疎自立促進計画は今後の事業策定に大きく関わります。前期の残された事業の諸問題を、次年度の予算

にどう組み入れる考えか。また、保育所の民間委託は、委託先の受け入れ準備に人材派遣など、十分な配慮をすべきでは。第三セクターの経営状況によっては町の財政指標に影響することがあり、

**Q 三瓶山観光は**  
**A** 大田市と検討



三瓶山

安部 議員

三瓶山について、飯南町総合振興計画や観光パンフレットなどにも何らかし記載がありません。町は観光資源をどう考えているのか。

大田市は、石見銀山とともに三瓶山を観光の両輪として新観光計画を平成20年9月にまとめているますが、大田市と連携して三瓶山の観光振興をすることを考えは。

山崎 町長

三瓶山を中心にした連携を大田市に持ち掛けましたが、具体的な取組にはなっていないですね。志津見ダムの完成にあわせ、東三瓶フラワーバレーを含めて大田市と連携を研究、検討します。

的で行動力のある計画になるよう検討を行っています。

今後は生命地域宣言の基本理念は大切に、環境地域づくりを進め、地域ブランドや複合産業化に取り組み、産業振興と定住を大きな目標として進めていく考えです。

関係整理の考えは。

新年度の予算は町長にとって大事な節目となります。町長独自の政策は。

山崎 町長

今、課題になっている保育所の業務委託、第三セクターの公共と営利との整理、里山コミッションのまちづくり会社化、森林セラピーの取り組み等、重要な案件は予算の中で反映させます。

**Q トンネルの補修工事は**  
**A** 漏水対策と非常通信設備更新など

安部 議員

秋から赤名・晴雲トンネルの補修工事が行われています。このうち赤名トンネルは、過去に例のない長期間にわたる大工事が続けられています。

さらに広島県側の布野町横谷では、トンネル付近まで両サイドに歩道新設工事が進められており、町民から要望の強いトンネル新設工事の先延ばしになるのではと危惧する声があります。トンネルの工事内容は。

町民の不安を解消しなければならぬが、最近の要望活動として新設工事を強く要望しているのか。また、町内の歩道未整備区間について、手遅れ

**Q 自動車道開通後のバス路線は**  
**A** 県を含めた対策協議会設置で



赤名駅

山崎 町長

バス事業者は3社ありますが、千円高速になり収益が大きく減少しており、顧客のニーズは短時間で目的地に移動することで、高速道経由は避けられない状況にあります。時期は未定ですが直行便は全便高速道路経由を考え、出雲便は斐伊川土手の道路状況を考慮すれば、斐川インターチェンジ利用も視野に入れて検討しているのが現状です。

三次市では中心部の交通、経済を中心に考えており、布野町は現在運行しているバス会社に増便を申請しています。掛合町は高速バス停までのアクセスバスを考えているようです。それぞれの自治体に差があり、県を含めた対策協議会を立ち上げて対応を図ります。

その後、バス会社や隣接の自治体では動きがあったと聞いています。現段階の状況と、関係機関にどのような対策を講じているのか。

※そのほか国土交通省松江国道事務所頃原維持出張所の存続についての質問がありました。



森林セラピー

# 12月定例会 町政を問う 一般質問

※地財ショック：国と地方の税財源を見直す三位一体改革の中で、総務省が示した地方財政計画（地方交付税が大幅に削減された）

## Q 産業振興課設置の効果は A これから機能発揮したい

伊藤 好晴議員

産業振興の重要性は、誰もが認めるところですが、そのどこに力点を置くのかが問われています。町長は「農業は本町の基本」と所信表明で述べていますが、現在の農産物販売は幅広い取り組みになり、効果に疑問を感じます。

そこで本年度、産業振興課を設置しましたが、その後、産業振興の分野でどのような前進があったのか。

山崎 英樹町長

行政の1次産業担当課と2次・3次産業担当課が一体化することで、生産から流通販売まで一貫した取り組みを進め、産業を担う人材育成に努めています。具体的には、農林・商工との連携による複合産



## Q 来年度の施政方針は A 農業と健康を両輪に

伊藤議員

町政の力点として町長は、「農業は本町の基本」「全国一健康な町づくり」と発言され、施政方針の柱に据えています。追求していけば相乗効果を生み出すと期待しています。

## Q 産業振興の重点目標は A 米・園芸・畜産を基本に

伊藤議員

本町では、大多数の農家が生産している作物は米で、本年度から米のアドバイザーを設置されました。

しかし、産業振興の幅広い業務の中で力が分散し、成果が上がらない状況だと思えます。重点目標をはっきり示し、全力を集中した取り組みをすべきでは。

山崎町長

米は柱となるものですが、一辺倒では地域を支える産業にはならないと思っています。今、厳しい状況ですが、米・園芸・畜産のトライアングル構造を、農業の基本として考えています。

ご指摘の集中と全力は、精神として受け止めます。

伊藤議員

## Q 介護保険見直しに注視を A 国の動きをみて対応

全町民的な議論を基に、取り組むべきと考えるが、来年度の施政方針は。山崎町長 高齢者が自分の田畑を生きがい農園と位置づけ、農産物を生産し、町民の食を担うという視点でみれば、農業と健康づくりは一体なものといえます。また、保健・医療・福祉・介護の連携を一体化した組織として、生きがい村推進センターを立ち上げ、その活動によって日本一健康な町を目指しています。農業を中心とした産業振興、町民の健康づくりを両輪に施策の推進に努めます。

山崎町長

国の社会保障審議会介護保険部会から、被保険者負担増を求める意見書が提出されました。原因は高齢化の進展による介護費用の増加に対して、国が負担割合を増やさなためです。町長として、被保険者と介護職員の立場に立った見直しを国に要望すべきです。

山崎町長

今回の見直しは、国の負担をどう考え、どこに財源を求めるとかが基本にあり、国民として覚悟が求められる案件です。まずは、国の動きを見ながらですが、町民に大きな影響を与える問題です。必要に応じて対応します。

## Q 町政2期目の仕上げは A 先頭に立ち総力対応



石原 敏郎議員

飯南町は、地財ショックの中で船出となったため、これまで産業振興に取り組みなかつたのではないかと。国の政策とは別に、わが町独自の政策で町建設に挑むべきだが、山崎町政2期目の折り返しにあたり、決意のほどを表明したい。

また、「観光に頼らないまちづくり」という視点で地場産業を盛んにすることが、結果的に観光産業につながると思うが。

山崎 英樹町長

私は、命と健康を視点とした産業振興、保健医療福祉の連携体制で

## Q 新庁舎建設の財源は A 一般財源で対応

石原議員

新庁舎新築は固い決意と理解しているのか。また、町発足後6年というやく検討するにいたった理由は。例えば、建設費7億円を仮定して、合併特例債を使う場合、町民の貴重な税金が2億円必要です。

山崎町長

庁舎は単に行政事務を行うだけでなく、防災の拠点をはじめ、多くの機能が求められます。本町の拠点として、新築を前提とすることが現実的だと思っています。新町誕生以来、一体感の醸成に力をそそいできて

## Q TPPにどう対処する A 政府の対応を注視

石原議員

多国間の貿易自由化は避けて通れません。そうした中、突然TPPが大きな政治課題となりまして、農業に及ぼす最悪の状況を想定し、飯南町の経済を守らなければなりません。

町長は今定例会でTPPに関し、「力強い農業の確立を政府に求める」



と述べたが、具体的政策要求は語りませんでした。TPP問題を、本心ではどのように考えているのか。

山崎町長

国は、農業の現場の声を分析もせず、唐突にTPP参加を表明しましたが、私は反対せざるを得ない立場にあります。しかし先日、米韓FTA

A(自由貿易協定)が合意され、日本車の対米輸出が窮地に立たされるとの報道もあり、国際的経済連携の方向は大きな流れだと思えます。政府の、農業関係の対応策を注視して対応していきますが、飯南町においては、地域を丸ごと売り出していく中に、活路を見いだしたいと考えています。

※そのほか『選挙と町づくり』についての質問がありました。

## 環太平洋戦略的経済連携協定(T P P)交渉参加に反対する意見書

菅直人首相は11月13日午前、A P E C首脳会議前に開かれた経済人との会合、A P E C最高責任者(C E O)サミットに出席し、環太平洋戦略的経済連携協定(T P P)について「関係国との協議を開始する。」と表明した。

T P Pは関税撤廃の例外措置を原則的に認めない交渉であり、結果的に農林水産業といった第一次産業の崩壊を招き、関連産業を含む地域経済が大打撃を受けることは明らかである。

我々は、工業製品の輸出拡大や資源の安定確保を否定するものではない。しかし、我が国が貿易立国として発展してきた結果、世界でもっとも開かれた農産物純輸入国となり、食糧自給率は著しく低下した。

既に農林水産省が試算しているように、T P Pに参加すれば、我が国の食糧自給率は40%から14%に急落し、米の生産量は90%減、砂糖、小麦はほぼ壊滅する。

このように、我が国における米や乳製品、牛肉、砂糖、小麦などの重要品目が例外なしの撤廃となれば、中山間地域農業と地域経済に与える影響は極めて甚大である。これでは国民の圧倒的多数が望む食料自給率の向上は到底不可能である。

何らの分析や準備が全くなされないままの拙速なT P Pへの参加は、農林漁業、農山漁村、地方経済・社会にとどまらず、我が国の多方面における国益を著しく損なう。

T P P参加によるメリット・デメリットについても各省庁の見解は統一されておらず、国民的議論も合意の形成もできていない状況下での交渉参加には断固反対するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年11月15日

島根県飯南町議会



決算審査特別委員会  
委員長 門 眞一郎

平成21年度飯南町各会計歳入歳出決算について、審査を行い、次の意見を付して認定しました。  
審査に当たっては、議決された予算が効率よく執行されたか、住民の行政に対する信頼度がどれほど増加したかを基本にしました。  
審査の対象は平成21年度飯南町一般会計歳入歳出決算書および関係書類、平成21年度飯南町国民健康保険事業特別会計外7件の特別会計歳入歳出決算書および関係書類です。

### 総括



平成18年に県内トップであった実質公債費比率は17.8%まで低下し、健全の目安18.0%を下回っている。実質公債費比率の低下は繰上げ償還とサービスの低下によってもたらされたものであり、本来の姿ではない。今後は政策を精査し、住民サービスの向上に努力が求められる。  
病院事業会計は初の黒字となった、これは特筆すべきことであり、医師・看護師ほかスタッフの努力に敬意を表すものである。

### 未収金

各種税および料金の滞納は7、566万円になっていく。収納率が向上した部分はあるものの、横断的専門員の配置をするなど、さらに努力を重ねる必要がある。経済の低迷により、今後さらに現年分の滞納が発生する恐れがあり、住民の置かれていく実状把握をすることともに、その立場に立った解決策を見出し、また、産業振興に努め、住民の所得向上を積極的に図り、収納率の低下を招くことの無いよう努力されたい。

### 産業振興

里山コミッションは設立当初の目的と外れた業務を抱え込んでいる。業務内容を精査し、本来の業務に専念できるよう改革が必要である。また、中国横断道松江尾道線の開通により、地域経済破壊も懸念される中、有効な集客の方策や近隣の都市へのアンテナショップ開設など、戦略的な行動を模索すべきである。  
有害鳥獣対策は、猟友会

### 教育

学校教育の専門員を置き、さらに飯南町の教育委員会として独自の地域づくり、人づくりを考えなくてはならない。  
児童生徒の減少に対処するため、山村留学などの方策も考えられ、検討を要する。また、放課後児童に対する施策を拡充し、共働き世帯やI・Uターナー者が子育てしやすい環境の整備が必要である。

### 住民合意

座談会の出席者が伸びない中、住民とのコンセンサスを図るため、出前講座や地区担当職員の活用などで住民の声を聞く場作りが必要である。

### 防災対策

多額の予算を投入して作られたハザードマップの活用は、住民が理解し、自主的に避難等の行動が取れるよう啓発してゆくことが重要である。  
避難勧告がなくても、最低限の安全確保は自ら行い、自分たちで避難行動ができるような仕組み作りが必要である。

### 上下水道の普及

水道加入率の低い地区があり、加入促進を図る必要がある。  
水道事業は地域の大半が加入することが重要で、加入希望者が少ない地区は、井戸設備の助成措置のほうに有効である。これにより合併処理浄化槽の普及の可能性もあり、検討されたい。



三日市住宅

### 【賛成討論】

門 眞一郎 議員

コメの売り上げは、すべてが生産費であり利益はないのが現状だが、T P Pに参加すると、関税が撤廃され安い食料品が大量に輸入されるため、生産原価が高い中国四国地方の農業は非常に厳しくなり、また、デフレが進行し日本経済の回復が遅れる。

さらに、農林漁業者の生産意欲をそいでしまい、若い人が希望を持っていない産業となり、食料生産の場が壊滅的な打撃を受け、

### 【反対討論】

石原 敏郎 議員

自民党政権下において、農業政策を価格支持から所得補償へと切り替えたが、それは、食える農業へ努力する農家に対し所得保障するものではなかった。ここに現在の農業政策の行き詰まりがあり、農業は、外圧ではなく内部から崩壊している、という立場に私は立っている。  
仮に今、自民政府だとしても、多国籍の貿易自由化は避けられないし、それに対処するた

め全国津々浦々いろいろな努力もされている。  
この意見書は、前半の現状分析と後半の反対理由とを異にしており、私から見れば言いがかりだ。  
T P P交渉参加に反対するのみではなく、交渉が肅々と進むなかにあつて、同時に我々が生きていく独自の道を探るべきであるので、この意見書提出には反対します。

自国の食料は自国で賄うという国の根幹が消滅する可能性がある。  
また輸入食料には、薬物残留や病害虫など安全性の問題も多々である。  
こういう危険を冒してまで安い食料を手に入れてみても、決して国民の利益にはならないので、「T P P交渉に参加することに反対する意見書」に賛成します。

## 総務厚生常任委員会

委員長  
瀧尻行雄

### 飯南町定住促進住宅の設置および管理に関する条例の制定

子育て世代のUターンを促し、定住の促進を図ることを目的に、賃貸住宅を設置する条例です。今回、頓原地区の泉川団地内へ2戸の住宅が新築され、2家族が移り住むことになりました。



4つのパターンの中の1つ



### 飯南町定住促進空家活用住宅の設置および管理に関する条例の改正

町外から本町へ移り住むための住宅として、空家を借り上げ、修理して賃貸する事業です。今回、1戸の増設を行うための改正を行いました。現地を確認しましたが老朽化が著しく、空き家の修理による住宅の確保が困難になっている現状がうかがえました。

### 飯南町医療従事者確保対策助成金条例の制定

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師を目指して進学し、将来町内の医療機関で働く意志のある人に、就学資金を援助する条例です。

募集人数を限り、審査により該当者を決定すると説明を受け、「審査基準があいまいだ。本町の心意気を示すのであれば、応募者全員を助成対象にすべきだ。」と強い口調で意見が述べられ、審査意見を付して可決することにしました。

### 一般会計補正予算

今回の補正の中に、過疎債が8,000万円あります。これは過疎法の改正により、地域医療の確保などのソフト事業にも使えるようになったことから、これを利用したことによるものです。

当委員会では、経常支出は一般財源で行うべきとの意見が強くありました。

医師不足を補うための非常勤医師等の人件費の多くは一般会計から支出しています。今回、3,900万円を過疎債で充当しました。使途に誤りはありませんが、財源振替分を再繰入して、内部留保を作り、病院経営の安定を図ることで、住民の不安を払拭すべきという意見がありました。

飯南病院

### 病院事業特別会計

病院事業は21年度、初めて単年度で黒字を計上しました。本年も住民の利用増などにより、収益が計画より3,800万円あまり増加しています。今回、これを非常勤医師や臨時職員の報酬、薬品・材料費の支払に使います。



## 教育経済常任委員会

委員長  
小野 覚

### 売れる米づくり事業 (一般会計補正予算)

J A雲南が実施する飼料用米受け入れ施設整備事業に係る補助金で、事業費は201万円です。

23年度からの戸別所得補償の本格実施に向け、米の受給調整が年々強まることが予想されます。そのため水田有効活用による自給率向上を目的として、飼料用米に取り組みたいことから、大東ライスセンターの荷受け・貯蔵・出荷設備の改造をし、出荷体制を整備するものです。



当委員会では10月21日、J A・農業委員会をはじめ町内各生産者団体・営農組織の代表と、米価下落対策などについて意見交換し、それを受けて11月29日、23年度生産調整増に対する対応を協議しました。

営農組織からは、飼料用米に取り組みにはリスクが大きいとの意見がありましたが、当委員会としては飼料用米・ホールクroppサイレージに取

り組む必要があるとの結論になり、今回の補正は評価しました。

運搬に普通米と混合する恐れがあることから、圃場まで集荷にあがり、農家の方が大東まで運ぶ必要はないとの説明でしたが、その他においても本町の農家が不利にならないよう、強く求めました。

### 森林整備加速化・林業再生事業(一般会計補正予算)

基幹作業道の整備事業の増額と角井地区の利用間伐の事業中止に伴う減額によるもので、2,879万円の補正です。

委員からは、森林組合が行う作業道開設、また間伐事業について、その作業行程について厳しい指摘がありました。

このたびの減額は、自然環境保全対策基金からの繰り入れを取りやめるなどですが、今後、志津見ダム周辺町有林の整備については、自然環境保全対策基金を有効な財源として整備しなければならないことから、今後のこの基金に基づく事業計画・実施計画の提出を求めました。

また今後、本町の森林整備計画を確立して、国の森林政策について即時に対応できる体制を整えておく必要性を提言しました。

今回の補正では、過疎債がソフト事業に対して

作業道建設現場



も可能になったことから、産業振興課所管の事業で総額2,600万円余りの過疎債充当の財源変更がされています。財政運営の面からも評価しますが、今後も適切に対応して財政運営にあたられることを求めました。



総務厚生常任委員会は平成22年11月8日から11月10日の3日間、縁組協定を行っている群馬県川場村と東京都世田谷区へ研修に行きました。群馬県でもひとときわ輝いているこの村は、水面下でどのような努力をしているのか、現地へ一泊して調査を行いました。

### 川場村の調査項目

**住民にどのようにして交流を浸透させたか。(もともと商才を持ち合わせていたのか、行政等の啓発により、区民の受け入れ態勢が整備されたのか)**

住民は当時流行していたゲートボールで交流し、子供たちは民泊で行き来した。農作物の販売は年200回くらい世田谷へ持ち込み販売した。5年くらいは山村留学も行った。これにより40人~45人学級を維持できた。お互いに不足するものを補い、関係は深くなった。

**二十数億円の財政の中で、住民のニーズのうち、どの部分に力点を置いているか。**

「子育てをするなら川場村」をキャッチフレーズに子育て支援に力を入れている。

- 小中学校の入学祝金制度…5万円
- 第1子誕生祝金 …………… 10万円
- 第2子誕生祝金 …………… 20万円
- 第3子誕生祝金 …………… 30万円
- 中学校卒業までの子供の医療費の無料化

**簡素な組織機構と少ない職員により、効率的な行政サービスを行うために、どのような工夫をしているか。**

効率は職員を減らすだけでは出来ない。減らせばよいというものではない。一人当たりのカバー率を上げるしかない。困難ではあるが、士気を高めるために努力している。

県の研修でモチベーションを高める。結果は庁内で共有する。庁内研修、課内研修を行う。

人事異動は若い人で3年、課長クラスは5年くらいだ。

研修として職員にスーパーの売り子に行かせる。83万人の来客がある村なので職員も接客をする。

**昨年の訪問時には、住民の皆さんは豊かであると感じたが、何か施策を講じているか。**

道の駅 田園プラザは10年目になる。6年かけて用地を取得し、ファーマーズマーケットは年3億円を売り上げる。組織は300人、最高額でひとり450万円を売る。

リタイアした老人が2反くらいの畑で野菜を作り売上を上げる。マージンは15%、生きがいにつな

がっている。健康で元気な老人は群馬県で一番だ。国保料も一番安い。

- 縁組関係にある世田谷区を重視して、近隣の合併を行なわなかった。
- 職員は住民がこの村で生活していて良かったと感じてくれることが生きがいだ。
- 直売所が老人の生きがいになっている。
- 東京農大生に山仕事を体験させた、区民が加わって交友の森作りに発展した。
- 田園プラザは7億6,400万円を売り5年連続全国トップだ。植樹祭や献穀祭で皇族を川場へお迎えすることで、集客を図っている。

少ない職員で業務をこなすのはかなりきつい状況だ、フォローをし合い、課長が動くようにしている。イベント村なのでいつも職員は動員される。

●米は年8回の勉強会を行い6回以上の出席がない場合は買い取らない。はじめは食味は70点代で、群馬の米は猫またぎと言われていた。群馬は麦の産地だ。田んぼ1枚ずつ土壌検査を行い、多収をやめることを進めた。食味により3段階に分類している。武尊山(ほたかさん)は蛇紋岩の山でヤマトタケルが熊襲征伐に行くとき、この地の米を食べて力をつけて戦いに挑むという物語を作った。食味がいい原因は蛇紋岩だ。水は生活利水の入らない上流から用水を引いている。土地の美味しい水が美味しい米を作る。美味しいものは高く買ってもらえる。高い程よく売れた。



川場村役場会議室にて

生産から加工販売まで、ほぼ全村民がかかわっているヒメノモチの村、岡山県新庄村を平成22年11月5日視察しました。

### ヒメノモチに1点突破で臨んだ新庄村

新庄村は明治以来一度も合併せずに現在に至っていますが、人口は約1,000人、面積は飯南町の約4分の1という小さな村です。農業改革あるいは6次産業化が叫ばれるなか、ヒメノモチにしばり一点突破で6次産業化を確立されつつあります。

昭和55年冷夏に見舞われた際、村内で試験的に栽培されていたヒメノモチは、うるち米に比べ収穫が落ちなかったことから、官民一体となって村の進むべき道を確立し、ヒメノモチの村へと進まれました(最初のヒメノモチの種子は旧頓原町から譲り受けたそうです)。

平成3年、第三セクター(株)メルヘン・プラザを設立し、販売拠点を確立。平成14年、ヒメノモチ加工場を完成させ大量生産が可能になり、同年ヒメノモチ生産組合を設立し、農協による一元集荷がスタートしました。



正月用のまるもち

岡山市では現在「正月は新庄の餅で」という空気が広がっているようですが、これも一朝一夕にできたものではありませんでした。村職員も加わって「お祝い餅つき隊」を結成し岡山市内や近県で餅をついたり、また、お金のかかる宣伝広告はせずに情報発信を重視するなど、官民一体による取り組み成果の確かさを感じました。

私どもの視察に対応していただいた新庄村職員の、「わが村を最大限売りこもう」とする姿に感謝と敬意を表します。



出荷直前の商品



道の駅「メルヘンの里新庄」

村はヒメノモチ栽培促進のために、農協の買い取り価格1俵(60Kg)に1,000円上乗せして1万6,000円とし、うるち米からの転作を促しています。

財政状況は、飯南町に比べれば極めて健全なもの、厳しい印象も受けましたが、村が助成してまでヒメノモチにこだわるのは、平成大合併に加わらず、自主自立を目指す村の生命線であるとの強い意志の現れだと感じました。

道の駅には餅米を加工した新庄村オリジナル商品が並んでいました。2008年度、村内で加工したもちの売上額は6,245万円を記録、57万円だった2002年度から6年間で100倍以上に伸びたこととなります。



# 議会活動報告(10月~12月)

## 10月

- 1日 島根県町村議員研修会：松江市
- 4日 議会広報編集委員会：委員会報告、紙面校正作業
- 6日 決算審査特別委員会：教育委員会、住民課
- 7日 公立雲南総合病院組合議会定例会  
議会広報編集委員会：委員会報告、紙面校正作業
- 12日 議会広報編集委員会：委員会報告、紙面校正作業
- 13日 決算審査特別委員会：企画財政課、産業振興課
- 14日 教育経済常任委員会
- 15日 庁舎問題調査特別委員会(第1回)
- 18日 決算審査特別委員会：飯南病院、保健福祉課
- 20日 議会運営委員会
- 21日 教育経済常任委員会
- 22日 飯南病院医師との意見交換会
- 25日 雲南市・飯南町事務組合議会
- 27日 決算審査特別委員会：総務課、建設課
- 29日 総務厚生常任委員会

## 11月

- 2日 決算審査特別委員会：飯南町社会福祉協議会、飯石森林組合
- 5日 教育経済常任委員会視察研修(岡山県新庄村)
- 8~10日 総務厚生常任委員会視察研修(東京都世田谷区・群馬県川場村)
- 15日 **第7回臨時議会**  
庁舎問題調査特別委員会(第2回)
- 16日 決算審査特別委員会：フロンティアあかぎ、飯南トータルサポート
- 19日 決算審査特別委員会：J A雲南、サブロ島根、飯南町商工会
- 24日 決算審査特別委員会：現地調査
- 26日 決算審査特別委員会：まとめ作業  
雲南広域連合議会・公立雲南総合病院組合議会・雲南消防組合議会  
雲南環境衛生組合議会
- 29日 教育経済常任委員会

## 12月

- 3日 議会運営委員会：12月定例会の提出議案、日程外の協議
- 7日 **12月定例議会**：本会議、町長提出議案の説明、質疑
- 10日：本会議、一般質問
- 13日：委員会審査
- 14日：委員会審査
- 15日：委員会審査
- 16日：委員会審査
- 17日 **12月定例議会**：本会議、討論、採決
- 22日 議会広報編集委員会：一般質問要約作業
- 27日 議会広報編集委員会：一般質問要約作業



石次神社から琴引山を望む



消防出初式

### 私の信条

### 将来に夢を託し



長島 正一

少子高齢化が深刻化する中、にわかには湧きあがった自由貿易協定(FTA)や環太平洋経済連携協定(TPP)は、農業・農村の崩壊を招くとし、反対運動や慎重な対応を求める声が高まっています。

農村の現状を考える時、今こそ「将来に夢を託し」真剣な論議を行おうではありませんか。

私は、42年前、旧匹見町や当町程原地区を視察し、地場産業の育成の重要性を痛感し、農家の仲間とともに農作業の受託や農産加工を試みました。今では、当町の大きな地場産業となりました。また、多くの仲間(産業)もできました。「将来に夢を託し・思いはいつか通じる」を肝に銘じ、今後とも「政策提言」に努めてまいります。皆様のご意見ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 編集後記

恒例とはいえ、今回の年末年始の大雪には新年のゆつたりした雰囲気を一変され、雪かきに追われる日々をしいられた。

その様な折、所用で松江に出かけた。晴雲トンネルを過ぎて数キロ走ると、雪ひとつ無い風景に腹立たしい思いになるのが通例だが、今年ばかりは様子が異なった。

松江の市街地に入っても一面の雪世界。幹線道路は辛うじて除雪がしてあるものの、脇道では除雪作業の形跡も無い。県都の除雪対策(機材や人員)は、年末年始という時期を加味しても、その脆弱さを伺わせていた。

しかし、その様な状況下でも隣接した歩道の除雪や、動けなくなった車の救出を、協力し合いながら行っている市民の姿に、心温まる想いを抱きながら帰路についた。

夕暮れ間近の時間に、車での往來に支障なく帰宅。備えの大切さをつくづく感じた。

そして、仕事とはいえ、年末年始の時期であっても、家族との団欒を犠牲にして除雪作業に従事している人、不測の事態に備え職場で待機している人。この様な人達によって、私達の生活が守られていることを知っておかなければならない。

議会広報編集委員会

熊谷 兼樹